

## 津商フレッシュマーケット

6月29日 ソシオ一番街



地元産小麦（ふくほのか・ミナミノカオリ）の消費拡大を目的に、津山商業高校の生徒が、ソシオ一番街で対面販売を行いました。

## 過疎地有償輸送出発式

7月1日 阿波支所



過疎地域の高齢者の足を確保するため、NPO法人エコヴィレッジあばが行う有償輸送事業に電気自動車2台が導入されました。

## 第16回津山武道祭

7月1日 津山総合体育館



剣道や空手道、柔道など武道に励む7団体、約600人が参加し、模範演武を披露して交流を深めました。

## 「神話の夢舞台出雲」観光PRキャラバン来津

7月10日 市役所庁議室



津山市の友好交流都市・出雲市から、今年、古事記編纂1300年を記念して開催される「神話博しまね」のPR隊が訪れました。

## 街かど寄席～津山坪井宿～

7月22日 大井西ふれあい学習館



「津山に文化を届けようシリーズ」の第7弾。岡山大学落語会による「ちりとてちん」などの軽妙な演目に会場は笑いに包まれました。



## 見つけよう キラッと光る地域の宝

津山“たかくら”塾

7月15日、上高倉公会堂(上高倉)で開催された地域づくりの実践講座に塾生8人と聴講者約25人が参加しました。

第1回目の今回は、塾生がこの講座でやりたいこと(マイプラン)を発表し、討議を行いました。討議では、高倉地域の資源を活用した活性化策や地域の問題を解決するために何をすればよいかについて、それぞれの意見を出し合いました。

塾生たちは、全5回の講座を通じて地域の魅力を再発見し、地域づくりに生かしていくプランを立案していきます。



## みんな、いっしょの価値持つ人間

ひと・ふれあい講演会

7月22日、グリーンヒルズ津山リージョンセンター(大田)で人権について考える講演会が開催されました。

講師で弁護士の菊地幸夫さんは、自身が監督を務める少年バレーボールチームでの出来事などを例に「人権を守る第一歩は、相手も自分と同じ価値を持つ人間であること認識して、対等な立場で接することが大事」と説きました。

250人の来場者は、日常生活の中ではあまり意識することがない人権の大切さに気づき、気持ちを新たにしているようでした。

## 親子で楽しく、きて、みて、まなぶ

津山市子どもまつり



7月16日、津山地域交流センター(アルネ・津山4階)で津山市子どもまつりが開催されました。会場には、木の幹を使ったペンダント作りやスチロールでできた飛行機飛ばし、カプラの積み木体験、押し花を使ったしおりとうちわづくり、折り紙など、少し懐かしさを感じる体験コーナーが設置され、親子で楽しそうに会話をしながら取り組んでいました。

また、ステージでは、キッズダンスやバルーンショー、津山に関するクイズ大会などが催され、大きな拍手と笑顔、歓声が起きていました。



生涯学習マスコットキャラクター「マナビイ」

## 津山の玄関、爽やかに使おう

津山駅前駐輪場放置自転車撤去

6月28日、JR津山駅にある駐輪場で、放置自転車の撤去作業が行われました。作業には駐輪場を管理する津山市都市整備公社の職員や日頃、津山駅を利用する高校生など64人が参加。

生徒たちは警告札が貼られた放置自転車約70台をトラックに積み込み、周辺のごみ拾いを行った後、自転車運転のマナー向上を呼びかけるチラシを道行く人に配りました。

神家侑弥さん(津山高専1年生)は「駅前が意外に汚れていることにびっくり。自転車など、物を大切にしてほしいです」と語ってくれました。



## 梅雨の晴れ間に、大輪の花

長法寺あじさいまつり

6月23・24日、長法寺(井口)であじさいまつりが開催され、多くの見物客でにぎわいました。

境内には約30種、約3,500株のあじさいが植えられていて、日本原産のガクアジサイや丸い花群を咲かせるセイヨウアジサイなどが大輪の花を咲かせていました。

訪れた人たちの中には、静かな時間が流れるお寺の雰囲気と咲き誇るアジサイを写真に収めようと熱心にシャッターをきる人もいました。

また、山腹に建つ多宝塔では、地元住民によるくじ引きなどのお接待も行われました。